

## 第6回目のGIS News! です

平成12年度もあとわずかです。何かと忙しい毎日を過ごされていると思いますが、明るい新年度を迎えるためにも張りきって行きましょう!

さて、6回目となりました今回は『属性データ』について説明していきたいと思えます。最後までよろしくお付き合いください。

## 『数値情報』ってなに?

GISを構築する際に必要なデータは、大きく2種類に分けられます。ひとつはvol.5で紹介しました基図であり、ひとつは文字・数字・写真などの情報です。点・線・面に付与されるこれらのデータは、通称「属性データ」と呼ばれております。

## ツボを押さえた属性データ整備

GIS成功のカギは、目的に合わせた必要最低限の属性データで初期構築を行い、あとは必要に応じて順次項目を追加していくことです。

このように利用目的のツボを押さえた属性データを入力しておくことができれば、導入においても、運用においても無駄をなくすることができます。

## 数値情報の整備とコスト

利用目的に応じてどのような属性データを入力するのか、という問題はもちろん大切ですが、ひとつの属性データをどれだけ細分化するか、という検討も大切です。例えば、人名であれば姓・名を別々に入力するかどうかこれがこれにあたります。

属性情報を細分化して入力すれば、複雑な検索などを行うことができるようになりますが、むやみに細分化しても得られるものは少なく、コスト増となります。一方で、一度入力した情報を細分化する作業はそれ以上のコストが必要となりますので、無駄が発生しないように現在の利用と将来の利用をある程度検討して、情報を入力する必要があると言えます。

## 既存データの有効利用

現在、皆さんは表計算ソフトやデータベースソフトなどを用いて、様々なデータを電子化されているのではないのでしょうか。これらのデータと市販のデジタル地図(数万円~)を利用することで、容易にかつ低コストでGISを構築することができます。多少の修正は伴いますが、ぜひ有効活用されてはいかがでしょうか。

## 次回のGIS News!

今回は4月9日発行予定です。よろしくおつき合い下さい!

## Geographic Information System

